主　催
公益財団法人 日本ビフィズス菌センター

第21回 腸内細菌学会

発表演題募集・プログラム

メインテーマ

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

腸内細菌の機能研究と
オミックス研究の融合

―Host-microbiota relationshipの解明―

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

開催日　平成29年6月15日（木）・16日（金）

会　場　**神戸市産業振興センター**
「ハーバーホール」
神戸市中央区東川崎町 1-8-4

大会長　山村 秀樹（ビオフェルミン製薬株式会社）

事前参加費　会員 6,000 円　一般　8,000 円　学生 1,500 円
当日参加費　会員 8,000 円　一般 10,000 円　学生 2,000 円
（予稿集：会員・学生無料配布、当日別売 2,000 円）

腸内細菌学会ホームページ　**http://bifidus-fund.jp/**

一般演題 A（ポスター発表）・B　申込要領

平成29年2月3日（金）まで

本年度は、発表＋ポスター発表の 一般演題 A と発表のみの 一般演題 B の 2 種類の募集となります。

常在・病態菌叢およびその生態・分類・意義・腸管免疫・食品微生物・プロバイオティクス・プレバイオティクスなどに関する研究の発表を下記の要項に従ってお申し込みください（メインテーマと関連がなくても結構です）。

本大会の一般演題は、大会 1 日目午前中のセッションでのミニ発表（5 分程度の口頭発表［質疑応答なし］）と、同日の午後のポスター発表（30 分程度［質疑応答あり］）が一組となった【一般講演 A】と、大会第 2 日目の午前中のセッションでの発表（12 ～ 15 分程度の口頭発表［質疑応答含める］）のみの【一般講演 B】の 2 つの形式といたします。この内「一般講演 A」については若手研究者による発表や、シーズあるいは萌芽的な研究の発表を歓迎いたします。なお「一般演題 A」での発表の中から本センター選考委員によって優秀な発表と評価された発表者に対して「最優秀発表賞」（表彰状および副賞）が贈られます。

（公財）日本ビフィズス菌センターは特許庁による特許第 30 条第 1 項の規程にもとづく学術団体として指定を受けています。

① 申込方法　・抄録用原稿を E-Mail にてお送りください。メール本文には「一般講演 A での発表希望」なのか「一般講演 B での発表希望」なのかを必ず明記してください。

② 作成要領

! 要旨および発表スライドには、会社名、製品名の使用は避け（自社製品は除く）、成分名等にて記載ください。

【一般演題 A】
- 平成 29 年 6 月 15 日現在で 40 歳未満の方を対象とします。
- 抄録用原稿は MS-Word もしくはテキストで作成してください。
- 用紙の大きさは A4　1 枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者（○をつける）・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- 本文の長さは和文 1,000 文字または英文 550 ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
- 締切：**平成 29 年 2 月 3 日（金）必着** にて事務局までお送りください。

タイトル
英文Title

○腸内太郎[1]，腸内花子[2]
[1]腸内大学研究所，[2]株式会社 腸内細菌

【目的】…
【方法】…
【結果】…
【考察】…

【ポスター】
- サイズは横 90 cm ×縦 120 cm 以下で作成してください。
- 学会当日（6 月 15 日）の 9:50 までに 8 階ポスター会場に掲示してください。
（詳しい作成要項は発表者に別途通知いたします）。

【一般演題 B】・抄録用原稿は MS-Word もしくはテキストで作成してください。
・用紙の大きさは A4　1 枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者（○をつける）・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
・本文の長さは和文 1,000 文字、英文 550 ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
・締切：**平成 29 年 2 月 3 日（金）必着** にて下記事務局までお送りください。

③ 発表時間

【一般演題 A】 6 月 15 日（木）

大会第 1 日目午前中のセッションでのミニ発表（5 分程度の口頭発表［質疑応答なし］）と同日の午後にその講演のポスター発表（全体で 30 分ほど［質疑応答あり］）となります。
※同日に行われる情報交換会にて、最優秀発表賞の表彰を行います。

【一般演題 B】 6 月 16 日（金）

大会第 2 日目午前中のセッションでの発表（12～ 15 分程度の口頭発表［質疑応答含む］）となります。

※発表時間は変更になる可能性がございますのでご了承ください。

④ 申込先および事務連絡先

公益財団法人　日本ビフィズス菌センター事務局
〒 170-0002　東京都豊島区巣鴨 1-24-12
TEL 03-5319-2669　FAX 03-5978-4068
E-Mail アドレス　jbf@ipec-pub.co.jp
ホームページ　http://bifidus-fund.jp/

⑤ その他

発表方法（ポスターの様式を含める）や時間などは採択後に発表者にご連絡します。
なお、演題の採択は学術委員会の審査を経て、大会長が判断いたしますのでご了承ください。

投稿のお願い

本学会でのご発表の内容を和文誌『腸内細菌学雑誌』または日本ビフィズス菌センター・日本乳酸菌学会・日本食品免疫学会の合同欧文誌『Bioscience of Microbiota, Food and Health』へご投稿ください。原稿の種類は、原著・総説・ノート何れでも構いません。

学会スケジュール（予定）

6月15日（木）　第1日

9:50～10:00　**開会の挨拶**

大会長　山村 秀樹（ビオフェルミン製薬株式会社）

10:00～11:30　**一般演題 A　ショートプレゼンテーション**

11:30～12:00　**招請講演**

藤本 孝明（日本生菌製剤協会 会長）
「生菌製剤百年をふり返る」

（12:00～13:00　昼食休憩）

13:00～13:50　**海外特別講演**

Christian Jobin (Professor of Medicine, University of Florida, USA)

14:00～16:40　**シンポジウム 1　『マイクロバイオームと宿主の恒常性』**

① **福田 真嗣**（慶應義塾大学先端生命科学研究所）
「腸内細菌叢由来代謝物質がもたらす宿主恒常性」

② **土肥 多恵子**（国立国際医療研究センター研究所 消化器疾患研究部）
「消化器の摂食応答とマイクロバイオーム」

③ **金　倫基**（慶應義塾大学薬学部生化学講座）
「乳幼児期におけるクロストリジウム目細菌の獲得は腸管病原菌の定着抵抗性を制御する」

④ **冨田 秀太**（岡山大学医歯薬学総合研究科）
「皮膚マイクロバイオームの恒常性」

⑤ **松木 隆広**（（株）ヤクルト本社中央研究所 基盤研究所）
「乳児腸内フローラの形成に影響を与えるビフィズス菌の遺伝特性」

16:50～18:00　**一般演題 A　ポスター発表**　（8 階　802+803 室）

午前の部に行ったショートプレゼンテーションのポスターを用いた質疑応答タイム

18:20～19:50　**情報交換会**　（10 階　レセプションルーム　1001 + 1002 室）

皆様奮ってご参加ください。

6月16日（金）　第2日

9:20～12:00　**一般演題B 発表**

（12：00～13：00　昼食休憩）

13:00～13:50　**特別講演**

高井　研（海洋研究開発機構 深海・地殻内生物圏研究分野）

「極限環境微生物から見える生命の限界と起源、
そして地球外生命の存在」

13:50～14:00　**日本ビフィズス菌センター研究奨励賞授賞式**

14:00～14:40　**受賞講演**

14:50～17:30　**シンポジウム2　『マイクロバイオームと病態』**

① **奥村 利勝**（旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野）
「過敏性腸症候群とマイクロバイオーム」

② **渡辺 俊雄**（大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科）
「薬剤性小腸傷害とマイクロバイオーム」

③ **中島　淳**（横浜市立大医学部肝胆膵消化器病学教室）
「非アルコール性脂肪肝 NASH・NAFLD における腸内細菌と腸内メタボローム解析」

④ **阿部 高明**（東北大学大学院医工学研究科・医学系研究科）
「腸内細菌叢コントロールによる腎不全治療」

⑤ **山下 智也**（神戸大学大学院医学系研究科循環器内科学分野）
「腸内細菌と循環器疾患」

17:30～17:40　**閉会の辞**

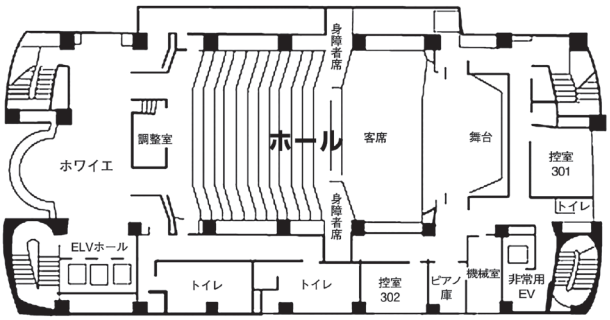
交通アクセス・マップ
神戸市産業振興センター「ハーバーホール」

神戸市産業振興センターまでのアクセス （神戸市中央区東川崎町 1–8–4）

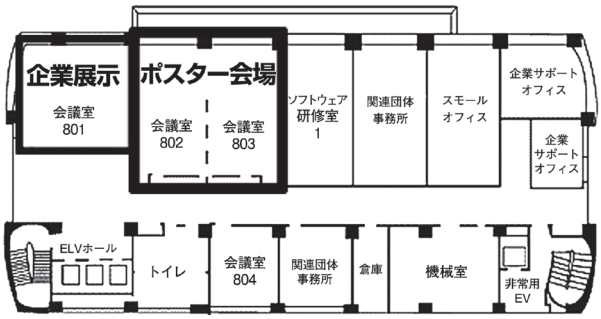
- JR 神戸駅より徒歩 5 分
- 阪神電鉄 「西元町」駅より徒歩 6 分
- 神戸高速鉄道「高速神戸」駅より徒歩約 8 分
- 市営地下鉄海岸線「ハーバーランド」駅より徒歩約 5 分

会場案内図

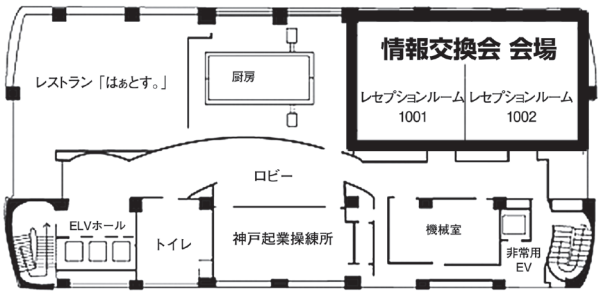
神戸市産業振興センター



3 F 講演会場



8 F ポスター会場・企業展示
ご提供製品・ドリンクコーナー



10 F 情報交換会会場